

様式 4

令和 3 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取商業高等学校
校長 岩田 直樹

評 価 日	令和 4 年 1 月 2 8 日 (金)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ・ どの項目も概ね達成できている。 ・ 適切な目標を設定した上で教育活動が行われている。 ・ 検定取得者の増加、問題行動の激減など、成果が確実に数字に表れている。 ・ コロナ禍においての鳥商デパートの実施については、生徒が経験を継承していくことや販売戦略などの点で評価したい。 ・ 丁寧な指導が見て取れるが、今後も働き方改革との両立を心がけて活動して欲しい。 (2) 説明・公表について ・ 特になし。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・ 特になし。 3. 取組改善のための提言 ・ ミスマッチに起因する早期離職を減らすためにも、企業の研究やキャリアを考えた指導を推進してもらいたい。 ・ 現代社会で情報機器の利用は必須だが、メディアコントロールも必要。この点について、保護者を巻き込み、協力しながら解決策を考えてはどうか。 ・ 活躍する卒業生の姿を励みにして、よりよい進路実現につなげて欲しい。		・ 目標としていた「全商 1 級 3 種目取得 1 0 0 人」を達成することができた。 ・ 2 年間コロナ禍での鳥商デパートでの開催となったが、従来規模での開催にも対応できるように経験を継承していく。 ・ 今後も外部機関と連携して様々な背景を持つ生徒への対応を継続して行い、一人も辛い思いをしないように支援していく。 ・ 来年度も適切に運用していく。 ・ 本年度 1 年に導入した Locus を 2 年、3 年と繋ぐことで、生徒のキャリア教育にいかしていく。 ・ 学校生活アンケートで睡眠時間の不足が目立つ。健康教育 LHR などを利用して生徒に働きかけていくと同時に、保護者との連携も模索する。 ・ 今後、バーモント州エセックス高校とのリアル交流を実現し、SDGs のビジネス教育との紐付けを行っていきたい。